



## CIRIUM 2022 年定時出発率ランキングで 大阪国際空港が大規模空港部門で世界 1 位を獲得！

関西エアポート株式会社は、航空分析の業界をリードする CIRIUM（シリウム）が発表した、世界の航空会社と空港の定時出発率<sup>\*</sup>の総合ランキング「The On-Time Performance Awards 2022」において大規模空港部門で大阪国際空港（伊丹空港）が、世界 1 位となったことをお知らせいたします。

「The Cirium 2022 On-Time Performance Review」は、航空会社や空港のパフォーマンスに関する世界的基準になるもので、今回の受賞は就航している各航空会社の定時運航に向けた日々のオペレーションに加え、関西エアポートグループのファストトラベルの取り組みにより高い定時出発率が実現できたことによるものと考えております。

関西エアポートグループは、引き続き関係者一丸となって航空機の定時出発確保へ向けて取り組み、お客さまが快適に利用いただける空港づくりを行ってまいります。



### 大規模空港部門

| 順位 | 空港名          | 国・地域 | 平均定時出発率 |
|----|--------------|------|---------|
| 1  | 大阪国際空港（伊丹空港） | 日本   | 94.06%  |
| 2  | 福岡国際空港       | 日本   | 90.56%  |
| 3  | 羽田空港         | 日本   | 90.33%  |

※定時出発率：ゲートを定時に出発した完了したフライトの割合。ここでいう定時とは、予定ゲート出発時刻から 15 分未満での出発と定義されます。定時「出発」率は空港のランキングの評価基準です。



シリウムは、世界を動かし続けるためのデータと分析を提供します。旅行会社、航空機メーカー、空港、航空会社、金融機関などが、旅行の未来を形作る論理的かつ十分な情報に基づいた決定を下し、収益を拡大し、顧客体験を向上させることができるよう、この分野における数十年の経験から培われた見識をお届けしています。シリウムは、専門家や企業顧客向けに情報ベースの分析と意思決定ツールをグローバルに提供する RELX の一員です。RELX PLC は、ロンドン、アムステルダム、ニューヨークにて、以下のティッカーシンボルを使用し上場しています。ロンドン：REL、アムステルダム：REN、ニューヨーク：RELX。 (<https://www.cirium.com/jp/>)

### ■ The On-Time Performance Awards 2022 の概要

航空会社と空港のパフォーマンスの世界的基準となるもので、2022 年 1 月～12 月までのデータを用いて、航空会社は定時到着率、空港は定時出発率が評価されています。空港のカテゴリーについては、運航されたフライト総数における割合等により、グローバル空港、大規模空港、中規模空港、小規模空港の 4 つに分類されています。

### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション  
Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

|      |  |    |   |
|------|--|----|---|
| 本社   | 大阪府泉佐野市泉州空港北1番地<br>大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）      | 株主 | オリックス 40%、<br>ヴァンシ・エアポート 40%、<br>その他の出資者 20% <sup>1</sup> |
| 代表者  | 代表取締役社長 CEO 山谷 佳之<br>代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ |    |   |
| 事業内容 | 関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等                 |    |   |

#### 関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

|      |  |    |                  |
|------|--|----|------------------|
| 本社   | 兵庫県神戸市中央区神戸空港1番                              | 株主 | 関西エアポート株式会社 100% |
| 代表者  | 代表取締役社長 CEO 山谷 佳之<br>代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ |    |                  |
| 事業内容 | 神戸空港の運営、維持管理業務等                              |    |                  |



#### オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界約30カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

今後も、常に新しい価値を創造する強みと専門性を生かし、〈オリックス〉という完成形のない独自のビジネスモデルを基に、企業や人々に活力をもたらす企業活動を通じて社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12カ国において65以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構